



24号
2019年1月7日(月)
西原東中学校進路担当

卒業生がおくる応援メッセージ パート4

南部農林高校（生物資源科）1年 安慶名 ^{あんり} 杏梨 先輩

高校、学科を決めた理由は、動物が好きだったので、農林高校で動物と関わる学科に行きたいと考えていたからです。中部農林は遠いので、南部農林に行くことに決めました。そう決めたのは中学1年の後半の頃です。

勉強方法は、集中できそうな時にたくさん勉強して、やりたくない時は30分程度で終わっていました。やりたくない時にやっても、頭に入らなかったからです。勉強が辛いときは、とりあえず寝ていました。

高校で頑張っていることは、「危険物取得」「アーク溶接」などの資格取得です。農業関係の授業が週に8時間あります。通学方法は、母が車で送迎してくれます。

まだ進学先がきまっていない人へのアドバイスとして、自分が好きなことを専門に学べる高校に行くのも一つの方法かなと思います。

進学先が決まってからのアドバイスとして、私は推薦で合格したので、同じ高校に一般入試で受験する仲間に、面接でどんな質問をされたのかアドバイスしたりしました。

西原東から南農に進んだ先輩の学科ごとの人数

食料生産科	6人
生物資源科	3人
食品加工科	4人
環境創造科	2人
生活デザイン科	1人

南農市

毎月第3水曜日
(8・11・12月以外)



南農市



植物資源コース

バイオ実験

ランの移植実習

畜産資源コース

豚の飼育実習

鶏の解体実習



ハーブ(ミント)の栽培

バイオテクノロジー実習

植物資源コース ランやハーブ、地域の植物を育てます

草花植え付け交流

バジルソース加工実習

～パワーポイントを活用して紹介する予定でした 一部紹介～

開邦高校（学術探究科）1年 佐藤 ^{ゆう} 優 先輩

<高校、学科を決めた理由と時期>

・兄から話を聞いて興味を持ったから

兄が開邦に通っていて、高校生活の様子や開邦での良いところなどを話してくれていたため、楽しそうだった。

・県外の国公立大学に進学したかったから
開邦は県内でもトップクラスの県外進学率で、開邦なら三年間頑張ればかなり高い目標を持てると思った。

・決定した時期

中学1年のときからそれなりには考えてて、しっかりと決定したのは3年の夏休み。

<高校生活の様子、いま頑張っていること>

・みんなが思ってるほどまじめな人は多くない

開邦といえば勉強、みたいなイメージが多いと思うけど、実際にはそんなにみんな勉強好きじゃなかったりするし、めっちゃ真面目なひとっていうのは多くない。ただ、みんな勉強するときと遊ぶときと頑張るときとの区別がしっかりしている。だから部活と勉強の両立ができてるひとが多い。

・慣れれば楽しい / 時間の使い方が上手くなる

開邦は基本60分×6時間。さらに50分の0校時もある。そして土曜日午前中は授業がある。入学してすぐは授業長いし朝早いし進むの早いしまず授業難しいしで病みそうになるけど、慣れてしまえばそんな中でも余裕を見つけて楽しめるようになる。

・今頑張っていること

*早寝早起き 22:30には寝て、4:00に起きて2時間勉強。勉強は朝にやった方がいいと思う。(部活の後は正直集中できない)

*時間の有効活用 学校でも休み時間、放課後の30分くらいを使ってその日の課題を終わらせる。その日は家に帰ってからはほとんど勉強しない。

*提出物は提出の一週間前に終わらせる

*授業

*部活(テスト前休みをつくらない) etc..



<勉強法>

・受験を乗り切るために

*推薦を出したため、受験勉強は早めに始めた。

*開邦高校に関しては推薦入試でも付加問題という20分×5教科のテストが実施されるため、その対策を主にした。

*受験勉強をする際、気をつけるのは苦手な科目、単元をしっかりと把握しておくことだと思う。中学3年間の内容すべてを復習することは不可能なため、プレ入試や県模試などを受けているなら、それらの結果から判断したらいい。そこで見つけた弱点をひたすら復習し、反復して類似問題を解くのがいいと思う。

*付加問題は過去問が学校にあるから3年学年主任の先生などに聞いてみるといい。(付加問題は数学が一番キツイから数学できたらかなり有利になるはず)

・塾について

*私が塾に通い始めたのは中3の11月ごろ。塾には週四回通ってた。

*塾に通っている人にありがちなのが塾で勉強して満足して、家に帰ってから全く勉強しないこと。塾で23時とか24時まで勉強してたりする人もいると思うけど、最低でも1時間は家に帰ってから塾でやった内容を復習する時間を設けた方がいい。(24時には寝た方がいい)

*もし塾に通っていても成績が上がらない場合は、自分のやる気の問題かもしくは塾のやり方が自分に合っていないかのどちらかだと思う。→自分あった勉強法を見つけるべき

・勉強に集中できないとき

*気分の問題。ただ単にやる気が起きなかったり、危機感を感じてなかったり疲れていたり、いろいろな要因があると思うけど、それらは場合によってすべき事があると思う。

*やる気が起きないとき、もしそれがその日だけ、いつもはできてるのにその時だけ、などの場合はやる気になるまで勉強しない方がいい。頭に入らないはず。

*危機感を感じていない場合、その時は無理して勉強した方がいい。

*疲れている場合、寝た方がいい。→切り替えをする

<進学(入学)先が決定したあと>

・ぜったい気が抜ける

例えば、推薦で内定した人は一般受験の人より一ヶ月近く早く決定するわけで、多分、先生方からは調子に乗るなとか一般受験の人たちのことも考えろとか言われるかもしれないけどそれでも絶対気が抜けます。特に二月くらいからはほとんど入試に向けた復習なので授業に意味を感じない人もいるかもしれませんが、ですが、推薦で内定した人は一月か二月ごろ実施される模擬テストで席次を落とさないようにしてください。そこで落としてしまうと、入学後に一般受験で合格した人たちとの差が大きく広がっていたような気がします。

・高校入学に向けた準備を進める

推薦内定者は各高校から課題を出されたりするかもしれないのでそれをやる必要があります。その中には中学の復習だったり高校で学ぶことの予習だったりいろいろなのですべてしっかりとこなしておけばそれなりには大丈夫だと思います。ただ、他の人よりも早く高校への準備ができる、という利点は生かした方がいいと思います。課題だけではなく簡単な参考書や問題集をやってみるなどがおすすめです。一般受験で決定した方は春休み中に勉強習慣を乱さなければ遊びまくっていいと思います。ただ一日のうちの1時間は勉強に充てるなどして、勉強する習慣は絶やさないでください。